

平成 19 年 9 月 21 日

伊都地区事業場 職場巡視結果報告書

産業医 永野 純

平成 19 年 9 月度の職場巡視の結果について、下記の通り報告します。

記

実施日時：平成 19 年 9 月 20 日（木）15:00～16:30

実施場所：環境システム科学研究センター（CE40 棟）。

巡視結果：

101-1 電子物性観測室、104 水圏環境実験室、103 地圏環境実験室、202 事務室、203-1 センター長室、203-2 客員教授室：特記事項ありません。

101-2 光学物性観測室、101-3 環境浄化材料作成室、102 環境安全実験室：ドラフトが設置されていますが、ドアに（あるいは部屋の他の箇所にも）空気を採り入れる窓がないため、ドラフトの性能が確保されるかどうか懸念されます。ドアを閉めた状態で十分な流速が得られるかどうか確認をお願いします（図①）。また、目につきやすいところにドラフト使用時の注意書きを貼って（移動して）ください（図②）。



101-2 光学物性観測室：出入口近くの棚を固定して、災害などの際の避難路を確保してください（図③）。

106 廃棄物実験室：クレーンのワイヤーが切れかかっているので使用しないでください（処分してください）（図④）。

105 エネルギーシステム実験室：ピットの中に入る場合は、酸素欠乏に十分注意するよう安全策をとってください（図⑤）。

204 アジア環境技術情報資料室：本棚に地震対策が施されており良好です（図⑥）。

以上。

